吉野川ラムネット通信

Vol. 11

2017年7月吉日 発行

梅雨が明けてから

７月に入り、九州北部豪雨の次に秋田県での記録的な大雨と続いて川の氾濫、家屋の損壊など被害が相次いでおり、尊い人命を失うほどに過酷な災害となりました。誰もが、気候変動の過酷さを感じざるをえません。

さて最近、埼玉からの便りで、全国の 84 の環境団体がメンバ―となっているグリーン連合という NGO が、2015 年に設立されたことを知りました。この団体の設立趣旨は、地球温暖化に伴う気候変動は、世界中に大きな災害をもたらすが、現状では、目先の経済規模の拡大を求め、持続可能な社会への政策転換は進んでいない。そこで、環境 NGO・NPO が個別の目的を超えて結集し、強く社会に働きかけるために設立されたとのことです。すでに初回の環境省との打ち合わせを今年１月に、大臣及び事務次官以下関係者とこの団体の主要メンバ―で行い、2 回目を 6 月 14 日に環境教育について打ち合わせをしたそうです。今後も定期的に打ち合わせを行うことにしているようです。やっとでも大いなる一歩前進ですね。

翻って、徳島のラムサール条約湿地の登録に向けた動きは、今停滞しております。

干潟や汽水域など、今まで国内で減ってきている大事な湿地がある徳島、その上田んぼや蓮田などの湿地も多く現存している徳島の地をコウノトリが、選んで飛来し、子育てまでしたことを思うと徳島の地の豊かさ、高い生物多様性を次世代に遺していきたいものです。

その中心にある吉野川の豊かさを県民のみなさんにもう一度思い起こしていただき、ラムサール条約に登録することで、未来にこの素晴らしい宝を引き継いでいければと今回のイベントを開催することになりました。このイベントを契機にして新たな展開ができればと期待しています。皆様のご来場をお待ちしております。

7 月 28 日～7 月 30 日「ごちそうさま吉野川」
場所：文化の森近代美術館ギャラリー　　時間：9 時半～17 時

藤永知子

吉野川と歯科医師の私

吉野川大橋の北詰で歯科診療所を開院して、先日 15 年目を向えた。卒業大学で 17 年間、歯周病の治療・研究・教育に携わっていた私は、「川が見渡せる環境の良いところ」を一番の条件として開業の場所を半年ほど探し、丁度今の場所にテナントの空きがあり運よく借りることができた。

大学病院勤務とは異なり、経営なしでは十分な治療を提供できないため、独立で最も重視することは、「近辺に同業者がなくかつ人が多い」立地条件であり、当初は「魚の虫歯を治療するのか？」との批判もあったが、今は私も患者さんもこの場所に満足でき癒されていると感じている。

吉野川中流の阿波町(現在阿波市)の川沿いで生まれた私は、長い間ずっと吉野川に育てられた。　幼い頃に父に連れられ、吉野川に船を浮かべ網で鮎を獲ったりエビを捕まえたこと、隣の兄貴にエサや釣竿を吉野川で確保し、雑魚やフナの獲り方を教わったことを今でも鮮明に覚えている。

また吉野川は、僕ら川ガキの学びの場であった。野球をするのも広い河原が自由で良かった。　ボールがよく石にあたりラグビーボールの様に行き先が突然変わるのを予測しながら楽しんだ。そのため汗をよく流したが、石ころや砂利で足を擦りむいて血もよく流した。しかし、唾でなめたり、兄貴に教えられたヨモギの葉っぱをむしってよくもんで傷口を自分で治したものだ。　また、母の時代は学校にプールがないため、吉野川が小学生の水泳の学び場であったようだ。

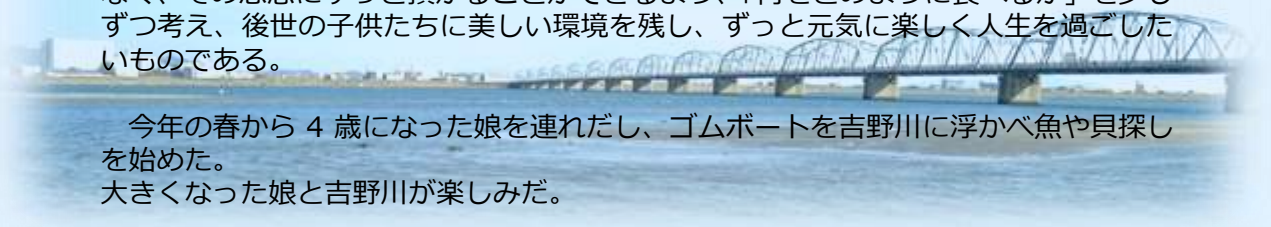
時がたち高度成長期に吉野川の流れは大きく変えられた。洪水予防との目的で、湾曲した吉野川の流れは真っすぐな形に変えられ、周囲はコンクリートで護岸された。また、上流はダムや砂防堰が繰り返し建設された。そしていつの間にか学校で、「川は危険なので遊ばないように！」と教えられ、吉野川はごみ捨て場、家庭の排水の流し場となり汚れ、川に近づく人が減ってしまった。

さて、「西洋医療を良し」として学び研究し治療に携わっている歯科医師の私は、西洋医療である抗炎症薬、抗性物質、抗アレルギー剤、更には抗がん剤といった、「抗」の付く「反する、止める」治療には疑問を感じ、東洋医療の伝統的な「気や血」の「流れを正す治療」に興味を持っている。現代病のがんを含む生活習慣病や、私の専門の歯周病も現代の西洋医療では完治できない。

吉野川から学ぶものが多い。私たちの体や歯の健康は「吉野川の流れ」に似ている。吉野川の水は絶えず流れ続け常に同じ形を保っているが、流れている水は同じものではない。　吉野川の流れや地球上の生命や環境の流れと同様に、人の血液や細胞も流れ続け変化しているが、常に一定の形を保っている。「生きている」とはそのようなものだ。　私たちの体は、私たちが食べた食べ物でできている」。昨日食べた物は今日の私であり、今日食べる物は明日の私を作るであろう。そして私たちが食べる食べ物は、川を含むすべての生き物の命の恩恵に支えられ、そのおかげで私たち人類は元気に生き子孫を残している。　地球上で現在、人類が最も進化しすべての生命の先端にいるようであるが、私たちの体を作っている分子は、代謝され排泄され川に流れて地球環境に戻り、その後に地中の微生物や植物の栄養になり、そして私たちがまた将来に食べるだろう食べ物の分子になっていることだろう。

私たち人類が奢ることなくこの美しい地球で共存共生し、地球環境の流れを止めない限り。

地球上ではほんの僅かな私たち人類の生命。川の流れや地球環境の流れに背くことなく、その恩恵にずっと預かることができるよう、「何をどのように食べるか」を少しずつ考え、後世の子供たちに美しい環境を残し、ずっと元気に楽しく人生を過ごしたいものである。



今年の春から 4 歳になった娘を連れだし、ゴムボートを吉野川に浮かべ魚や貝探しを始めた。
大きくなった娘と吉野川が楽しみだ。

エス・デンタルクリニック　　篠原啓之

～吉野川礼讃９～

板東の地

　本音は干支が「酉」とりであった。
そして兵庫県豊岡以外で初めて繁殖に成功したコウノトリカップルが抱卵し、孵化し、三羽の子供達も無事に巣立つという鳥にちなむ慶事があった。
　県はコウノトリ保護区（490ha）を急ぎ定めたのであった。このコウノトリの飛来は、ひとえに蓮田（レンコン畑？）が旧吉野川下流の湿地に広がっていたからに他ならない。さて、このあたりの古代には板野「イタ」とい
う湿地をさす広がりの野(千葉県潮来(いたこ)市こ水郷である)イタ野であった。板東・板西の地名も板野の東と西ゆえである。県の保護区はこの板東地域である。

　徳島の政庁は国府町、土成秋月、藍住町勝瑞と変遷した（最後は現徳島市）。この勝瑞は北に吉野川、南は別宮川にはさまれたこのあたりの最大デルタ上にあったと思われる。時代に即応して、物資の流通利便性のために内陸より新たにここに造られた都市であったろう。中富川・正法寺川・河蹟湖・多くのクリーク。川湊・市場・城塞。
　発掘によってだんだんと明らかになる勝瑞は当然の如く多重な環壕や堀（北千間堀）など有する都市・城館である。また、複雑な出入の池塘・池（池庭をもつことのできる武家はとても格上である）。栄枯盛衰・勝瑞は夢の中である。
　16C に蜂須賀入国で、政庁が別宮川南の徳島に移ってすっかり静かな蓮田となっていたが、今般、コウノトリ一家のおかげで板東の地が日本の衆目を集めることとなったのである。

　夏には美しい蓮が見渡す限り広がる地に、天然記念物コウノトリが舞う。

大切にしたい風景である。

河野眞理

おいしい吉野川

キス

吉野川の下流、汽水域には季節毎に海から入って、そのまま上流へ遡上を続ける魚 、鮎、鰻(シラスウナギ)等。また下流域に定着し産卵などのイベントを行う、チヌ、スズキ等。今回紹介するキスは後者で、５月中旬の大型キスに始まり６月には本隊がやって来る。

吉野川を愛するあまり吉野川大橋たもとに川を一望できるクリニックを開業した S 歯科医の正に眼下を中心に吉野川橋から河口にかけての砂泥底に広く定着。キス釣りは海岸での投げ釣り、海の船釣り等が一般的だが、海からの波を気にすること無く安全な船からゆったりと釣る。キス網漁も禁じられ保護された吉野川はまさに釣り天国。筆者確認の大型は 29cm(稀に尺超えも?)！

産卵の始まる７月中旬までの２ヶ月間早朝の川面には毎日多くの釣り船が浮かんでいる。秋まで釣れるが他魚に交代。

料理は基本的な天ぷら、塩焼き、酢味噌あえ、極めつけは刺身！皮引きは難しいがコツは三枚下ろしの状態で背ビレ、尻ビレの骨をきれいに取ると途中で切れにくい。大型キスの刺身は甘味が強い、小型はツルリとした滑らかな舌触り。ワサビ、スダチに合い、醤油を少し。とても特徴的な上品な味、初めて食べた人からは驚きの声、季節を飾る感動的な旨さだ！

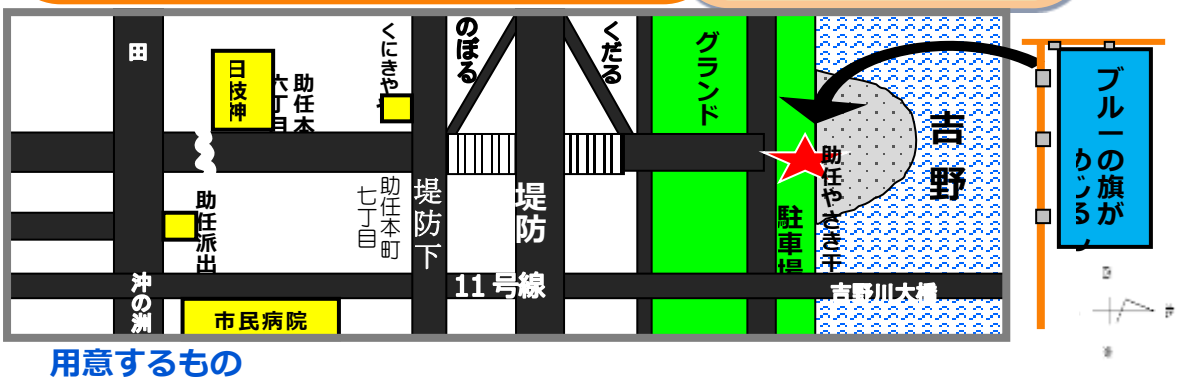
おいしい吉野川、ごちそうさまでした。　　さちのちち

吉野川ラムサールネットワーク
事務局　藤永知子
■Tel：090－7268－9448
■Email：taikazann@hotmail.com
■HP:http:// www.yoshinogawa-ram.net

助任やさき干潟であそぼう！

■８日 19 日（土）　■小雨はするよ！
受付９：00　開始９：30　～10:30
※中止の場合
延期日：８月２０日（日）　開始 9:30
■集合場所　徳島市民吉野川運動広場★に集合
（助任本町７丁目をまっすぐ川へ）
■参 加 費　(保険代と資料代等)
おとな３00 円　こども 100 円
泥の中の生きものを見つけよう!!

広さに限りがあるため
先着 20 名までと致します



用意するもの

○ **飲み物**　熱中症対策用は：500ml のペットボトルに一つまみの塩とほんの少しの砂糖を入れ、水を加える　または　OS－１など
○ **帽子**(できればつばの広いもの)
○ **靴**(足にぴったり合った運　動　靴など)　**長靴**　**マリンシューズ**　等
(サンダルなどの足の出るものはカキやガラスなどで切る恐れがあるのでおやめください)
※内側に、いらなくなった靴下をはくといいですよ！
○ **泥んこになってもよい服装**　**日焼け止めの用意をしてください**
○ １．スコップ　または　くま手　他
２．バケツやボールなど
３．ざる等
４．あれば　浮くボード　または木板(泥に埋まらないため)の用意

おうちにあるものでいいよ